

会議の結果

件名	令和2年度第4回社会教育委員会議定例会
日時	令和2年12月7日（月曜日） 午後2時00分～午後3時30分
場所	大塔総合文化会館 大会議室
出席者	○社会教育委員 出席者8名： 久保議長、松場副議長、近藤委員、井瀬委員、小山委員、山崎委員、 稲垣委員、柳川委員、 欠席者4名： 西川委員、中根委員、尾崎委員、加藤委員、九鬼委員 ○事務局6名： 佐武教育長、宮崎教育次長、狼谷生涯学習課長、 北尾生涯学習推進係長、尾崎公民館係長、澤本事務員 ○傍聴2名： 紀南教育事務所 舟木氏、福田氏

1. 開会 教育長挨拶

2. 議長挨拶

3. 説明事項・報告事項

- (1) 令和2年9月補正予算について
- (2) 令和2年9月議会 一般質問について
- (3) 令和2年度田辺市社会教育功労者表彰について
- (4) 第95回新春初泳ぎ・第37回新春初漕ぎについて
- (5) 田辺市指定文化財の新規指定について
- (6) 南方熊楠顕彰館 12月～1月の行事予定について
- (7) 第25回田辺市民駅伝大会・第38回田辺市子どもクラブ駅伝大会について
- (8) 第63回関西実業団対抗駅伝競走大会について

以上の項目について、事務局から一括して説明及び報告を行った。質疑応答における質問・意見等は無かった。

4. 協議

令和2年度人材育成講座「田辺市まちづくり市民カレッジ+（プラス）」の第3回講座について、事務局より説明を行った。

【質疑応答・主な意見】

A委員：受講申し込みは生涯学習課、という記載になっていますが、公民館の方で申し込みを受け付けてもらうことはできますか。

事務局：そういった形をとれるように検討します。また、館報の掲載についても検討します。

B委員：先日の南方熊楠賞では、ユーチューブでライブ中継を行っていました。今回の講座は、ライブ中継を行うことについては検討できないでしょうか。

事務局：ライブ中継については、機材や回線などの問題もあり、会場のビッグユーにも確認を取らないといけないかと思えます。今回の講座は定員100名という形にしていますが、当然より多くの方々に聞いていただきたいと思っています。ライブ中継を行うことで、定員以上の方々に聞いていただけるので、可能かどうか検討したいと思います。1月の定例会までには答えが出るかと思えます。

事務局：また、追加で協議をお願いしたいのですが、今回の講座の3部構成の時間配分についてです。

川北さんからは、今回の講座は川北さんが講義をするよりも、発表やパネルディスカッションに時間を割いた方がよいというご意見をいただいております。発表が各発表者15分、その後川北さんからの講義なしで講評のみ30分、その後パネルディスカッション75分、という時間設定で、素案として組ませていただいておりますが、こちらについてもご協議いただければと思います。また、パネルディスカッションのタイトルについて川北さんにお伺いしたところ、タイトルはなしでいいと思います、と返答がありましたが、このタイトルのことについても、ご意見伺えればと思います。

議長：川北さんの方から、3部構成のうち第2部が講評のみになって、第3部のパネルディスカッションに時間を多く取りたいということでしたが、時間配分については、そういった形で進めてもよいでしょうか。あくまで大まかな時間設定になりますので、細かい時間設定は次回に決めさせていただけたらと思います。

C委員：会場からの質疑応答の時間はどうしますか？

事務局：3か所合わせて5分程度かなと考えていますが、1か所の発表が終わってから質疑応答の時間を取るか、3か所全ての発表が終わってからまとめて質疑応答の時間を取るか、委員の皆様はどのようにお考えですか。

C委員：全体的に聞きたいこともあると思うので、3か所全ての発表が終わってから、全体で質疑応答で良いのではないのでしょうか。

議長：西川委員には当日コーディネーターをしていただくので、そういった時間についても頭の中にあるかと思います。西川委員とも話し合っ決めていければと思います。

事務局：可能であれば、講座までにどこかで企画会議を開催させていただいて、共通認識を図らせていただければと思います。

議長：第2部は、講義がなしという形になると、タイトルはどうなりますか。

事務局：川北さんからは、講評にタイトルはいらぬとお伺いしていますが、仮にパネルディスカッションにタイトルをつけるのであれば、「地域に求められる考え方、進め方」をテーマにパネルディスカッションをすればどうか、ということでご意見いただいております。

副議長：チラシはいつまでに完成させる予定ですか。

事務局：今月中に形を決めないと、1月には配れないかなと思います。

C委員：それでは、今月中に企画会議を開かないと間に合いませんね。

D委員：今回発表しない地域も共通の意識を持つためにも、方向性や願いといったものは必要で、そういった意味でタイトルは要るのではないのでしょうか。

副議長：第1部の研究発表の内容から見えてきたものが、第3部のタイトルや内容になってくるのではないかと思うんですけども。

E委員：第1部のタイトル「地域カルテの作成から見えてきたもの」は、課題の発見だけなのか、そこからさらに課題解決まで踏み込んでいるのかがわかりにくいように思います。

事務局：今回の地域カルテの作成は公民館主事研修の一環としてやっていますので、各地域で、こういうものが見えてきた、ではこうしていかないといけない、というところまで出来上がってくると思いますので、第1部の地域カルテのタイトルにつながってくるかなと思います。

A委員：こういうものが見えてきたから、こういう風に進めていこう、までやっていけますか。

事務局：今回、第3回講座までにすべての地域で足並みを揃えてやっていけるとは思っていないんですけども、各公民館主事が、将来の数値をもとに地域の人たちと地域の課題を共有するきっかけになればと思っています。

A委員：メインテーマやタイトルを決めるときに、そこまで出来ていないのに、そういう風なタイトルをつけるのは、違和感があります。

C委員：2月14日の発表まで、スケジュールとしてはどういう風に予定していますか。

事務局：各公民館主事には、1月末までに地域カルテの作成と話し合いの場づくりをするよう伝えております。研究発表予定の新庄と上芳養については、このスケジュールどおり進んでいくかと思っております。他の地域については、話し合いの場づくりの足並みを揃えることは難しいですが、地域

カルテについては同様のスケジュールで出来上がってくる予定です。ただし、旧町村部から研究発表予定の地域については、このスケジュールどおりとなるとは申し上げられない状況で、どうなるかは未定です。

議長：研究発表とパネルディスカッションとでつながっているタイトルにすればどうでしょうか。

A委員：研究発表のタイトルが「地域カルテの作成」で、パネルディスカッションのタイトルが「地域カルテの作成から見てきたもの」。

事務局：チラシのパネルディスカッションのタイトルにある「まち・むらの力で解決するために」とあるのは、川北さんからの投げかけであったり、アドバイスという風なおさえです。

B委員：タイトルがぼやけてしまうと声を集めにくいかと思いますが、ある程度の曖昧さは必要かと思えますので、このタイトルでいいんじゃないかと思えます。

事務局：「目標」を設定するという意味でも、タイトルは必要になってくるかと思えますので、また企画会議でご知恵をいただけたらと思います。

C委員：チラシのコロナ対策の欄ですが、もう少し短縮した方が良いと思います。手洗いうがいは、家で各自してくることなので、省略できると思います。

副議長：チラシの裏面は今回ないのでしょうか。

事務局：本当は詳細を記載したいんですが、各地域の発表内容や発表者がチラシの配布までに固まるかという部分があるので、一旦はこの形にしています。

副議長：何も知らない方が「地域カルテ」という言葉を聞いて理解できるでしょうか。

事務局：その点についても、企画会議でご知恵をいただけたらと思います。

議長：今日は大まかな部分について協議させていただきましたので、細かな点についてや、お気づきの点などありましたら、また事務局までよろしく願います。

5. その他

C委員より、美術館協議会の会議報告があった。

次回定例会の候補日程は、1月 20日、21日、22日 の3候補のうち、いずれかの日程で調整予定。

6. 閉会 副議長挨拶